





三木市記者発表資料 (令和6年12月24日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
市民生活部 市民協働課	課長 岩瀬文彦 (内線 2420)	市民交流係	0794-82-2000 (内線 2471)

タイトル
<b>「別所長治公祥月命日法要」を開催</b>
本件のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度別所長治公祥月命日法要は、別所長治公の446回忌法要です。</li> <li>・別所長治公の首塚のある雲龍寺で法要を実施します。</li> <li>・当時を偲ぶ伝統行事の「うどん会」を実施します。</li> </ul>
説明文
<p>天正8年(1580年)正月17日、羽柴秀吉の大軍と1年10か月戦い続けた別所長治公は、城兵の生命と領民の安全を第一義とし、「今はただ恨みもあらず諸人の命にかわる我身と思えば」の辞世を残し、妻子一族と共に自決されました。長治公の遺志はその後の三木市発展の大きな礎となりました。</p> <p>毎年1月17日に長治公を偲び、また、三木市の大恩人として後世に永く語り伝えるため、別所公奉賛会による祥月命日法要を雲龍寺で実施しています。</p> <p><b>1 日 時</b> 令和7年1月17日(金) 午前10時～</p> <p><b>2 場 所</b> 雲龍寺(三木市上の丸町9-4 Tel 82-0740)</p> <p><b>3 主 催 者</b> 別所公奉賛会(名誉会長:三木市長)</p> <p><b>4 内 容</b></p> <p>(1) 法要</p> <p>(2) 墓参り</p> <p>(3) うどん会</p> <p>1年10か月にわたる秀吉の兵糧攻めに耐えた城兵たちは、牛馬や草の根はもちろんのこと、壁土に塗込められたワラをも食したといわれています。長治公はこのような惨状を見るに忍びず、城兵の生命と領民の安全を守るため自決し、三木城は開城しました。</p> <p>「うどん会」は、当時を偲び領民を思う公の遺志を後世に語り継ぐため、毎年1月17日に公の首級が葬られている雲龍寺において、ワラに見立てたうどんを食べる伝統行事です。</p> <p><b>5 ホームページ</b></p> <p><a href="https://www.city.miki.lg.jp/site/kensyoujigyoku/1896.html">https://www.city.miki.lg.jp/site/kensyoujigyoku/1896.html</a></p>

<p><b>本案件は次のSDGs目標に関連します。</b></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="background-color: #f9a825; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p><b>11</b></p> <p>住み続けられるまちづくりを</p> </div>  </div>